

射場マニュアル

～開始時刻 10 分前までに…

・集合

射手が**回転開始時刻の 30 分前から射座に入ることを認めている**ので、役員はそれまでに集合してください。来てない人がいる時は、各学連員・所属校部員などを通じて来るように伝えてください。前の回転で撃っていた場合や仕事をしていた場合はしょうがないですが、忘れていたなどの理由であれば注意しておいてください。

・役員間の伝達

集まったら射場ジュリー・射場長・射補で顔合わせをしてください。**前の回転で起こった問題を確認し**、再発防止策とまた起こった場合の対応を話し合っておくといいです。

・射場の確認

全ての射手が平等な環境で射撃を行えるようにしなければなりません。**必要な照明が全てついていること、標的の高さが揃っていること**を確認してください。また、一部の射座にだけ直射日光や風が当たることのないように**カーテンや窓にも気を配ってください**。ただし、**一回転目の環境を維持しなければならない**ので、一回転目で開いていた窓などはそのままにする必要があります。

★以下九州ルール★

競技中は全てのカーテン・ブラインド・窓を閉めてください。あまりにも暑い場合は回転の間に窓を開けて換気をしてください。

射場には競技中はフラッシュ撮影が禁止であること、携帯電話の電源を切っておかなければならないことがわかるように表記をしなければなりません。競技中においては常識中の常識ですが、念のためそのような表示があるか確認しておいてください。

・射座の確認

予備射座を含め、全射座の交換機が正常に動作することを確認してください。前の回転で交換機の故障による射座移動があった場合は修理を試み、できるだけ早くその射座を使うかどうかの判断をしてください。使わない場合は変更点を当該射手とその記点手に口頭で伝え、得点掲示板に掲示してください。

射座に設置されている机は射撃線より 10cm 以上離れていなければなりません。交換機の確認をする際についてにチェックしてください

・用具の確認

役員として必要な用具がちゃんと揃っているか確認してください。

ストップウォッチ	役員数+通し時間用一つ	パンフレット	1部
競技規則集	役員数	筆記具	適宜
コントロールシート	1枚	予備標的	適宜
カード（警告・減点・失格）	各1枚	記点ボード・用紙	選手数
射場連絡用紙	適宜	電卓・赤ペン・黒ペン	記点手数

これ以外にも必要なものがあれば準備しておいてください。大体はクリアボックスに入っています。コントロールシートや射場連絡用紙、記点用紙がない場合は審査室に行き、印刷してもらってください。

- ・ 補助役員の確認

記点手・標的運搬が集まっているか確認してください。いなければ役員同様、学連員や所属校を通じて集めてください。

開始 10 分前～開始（プレパレーションタイム）

- ・ プレパレーションタイム開始のコール

回転開始 10 分前から 「*Preparation time begins now*」のコールでプレパレーションタイムが始まります。この時に通し時間を計るストップウォッチを起動させてください。

- ・ 銃検用紙などの確認

プレパレーションタイムが始まったら射場役員（主に射補）は銃検用紙・許可証の確認を行ってください。銃検用紙は全ての項目にチェックがあるか、許可証番号などに間違いがないかの確認をしてください。チェックがない場合はその用具が銃検を通過していないか、銃検員の記入漏れがあったかのどちらかです。射手が銃検を通過していない用具を使用して競技を開始した場合、2 点の減点と射撃の中断措置がとられます（詳しくは規則集第 2 巻、6. 11. 6. 1 参照）。銃検側の記入漏れの場合、その回転の公式終了時刻までにサインをもらって来るように射手に伝えてください。

許可証を提示できないというのは言語道断です。車などにある場合は直ちに射撃を中断させ、取りに行かせてください。

確認が終わった銃検用紙は回収し、コントロールシートにチェックをしたあと審査室に運んでください。銃検ジュリーサインがないなどの銃検用紙は回収せず、他の銃検用紙を運んだ際にその旨を審査ジュリーに伝えてください。

- ・ 射手の違反の確認

スタンドが高すぎないか、射撃線を踏んでいないか、両手がくっついていないか、銃が右射手の左胸（左射手ならその逆）に触れていないか、コート（右射手なら左腕の袖、左射手ならその逆）が銃に触れていないかなどをチェックして、違反しているようであればプレパレーションタイムの間に注意してください。直らない場合は警告をし、それでも修正しない場合はジュリーと相談の上で減点や失格などの措置をとってください。知り合いや先輩でもルール違反はルール違反です。

★以下九州ルール★

注意の際に「10 分以内に修正してください。それでも直らない場合は警告を与えます」と伝え、注意した時間をメモしてください。10 分以上経過しても直っていない場合は警告を与え、「次に発覚したら減点や失格などの処置をとります」と伝えてください。

- ・ 定時連絡用紙の記入

競技が始まったら時間・気温などを記入し標的運搬に持って行ってもらう。

開始～終了（競技）

・ 開始コール

- 1) ただいまより×××××大会、《種目》、《回転名》を開始します。
- 2) 制限時間は《種目ごとの時間》です。
- 3) 試射は本射前のみ無制限です。
- 4) Start!!
- 5) なお、ただいまの時刻は射場長の時計で《開始時刻》です。
- 6) エア放出をする方は標的を戻してエア放出を行ってください。

(4)を開始時刻にコールする必要があるので、(1)～(3)はプレパが終わる前に言い切っておいてください。(3)と(4)の間が空いてしまうより開始時刻がずれることの方が問題です。余裕をもって読み始めてください。

開始時刻は射場「長」の時計です。射場ではどの射座からでも見えるように時計を設置しないとイケないので、ほぼ間違いなく複数あります。全ての時計が一致していることはまずないので、射場「長」の時計が基準となっていることを宣言してください。射場長の時計はちゃんと時刻補整をしたものを使用してください。「Start」の号令以前に射撃を行った場合は減点などの対象となります。

・ 標的の回収

射手がシリーズごとにまとめた標的を回収し、**超過弾や暴発らしき弾痕がないか、順序や連番などに問題がないかを確認**してください。問題がなければ担当の記点手に手渡します。記点が終わったら標的を受け取り、標的の射群・射座・シリーズを見て**コントロールシートにチェックを付けてください**。その後標的をボックスに入れ、随時標的運搬に運んでもらってください。

・ 残分コール

終了時刻 10 分前になったら「10 minutes」、5 分前になったら「5 minutes」の号令によって射手に残り時間を知らせてください。

終了～（おしまい！）

・ 終了コール

- 1) Stop!!
- 2) ただいまの時刻は射場長の時計で《終了時刻》です。
- 3) エア放出を行ってください。
- 4) お疲れ様でした。

全ての射手が射撃終了を宣告する、もしくは制限時間に達した場合に終了コールをかけてください。「Stop」の号令以後に射撃を行った場合、その標的は0点となります。**弾が薬室にある射手がいる場合は役員の許可のもとでバックストップに撃ち込ませてください**。

- ・引き継ぎ

その回転で問題があったことなどを次の射場長に伝えてください。特に交換機の故障。口頭で伝えるのが難しい場合は紙などに書いて置いておくようにしてください。

- ・フォローアップ

フォローアップに選ばれた射手は、射撃終了後すみやかに検査を受けに行かなければなりません。選ばれた射手が射撃終了したら、その時間を記入し、射場ジュリーがサインを書いたものを射手に渡し銃検室にコートを持って向かうように指示してください。

その他・射場あるある（競技中暇なときに読んでほしい）

- ・安全確認

射手が射座を離れる場合、射場役員の安全確認が必要です。射手から射座を離れると申告があったとき、銃口カバー（ひもで口を縛れる袋）がついているか、ラッチが解放されセーフティープラグが使用されているかを確認する。

- ・時間の延長、射座移動

射手は自らの責任によらない理由で射撃を中断させられた場合は時間延長を要求できる。3分間以上の中断であれば中断された時間分の延長、5分間以上の中断もしくは射座移動であれば中断された時間に5分間加算された時間分の延長と残り時間の初めに1枚の試射的に弾数無制限の試射が認められる。（競技規則集 6.11.5 参照）

- ・暴発が起きたら…

暴発が起きた、もしくは射手から暴発したと申告があった場合はまず暴発が起きたことを射手に確認する。連絡用紙に記入して連絡用紙を暴発が起きたシリーズの標的に挟む。

※学連会議でしっかり報告できるように競技中に起きた問題はしっかりメモを取っておくようにしましょう！時間・対応についても忘れずに！！